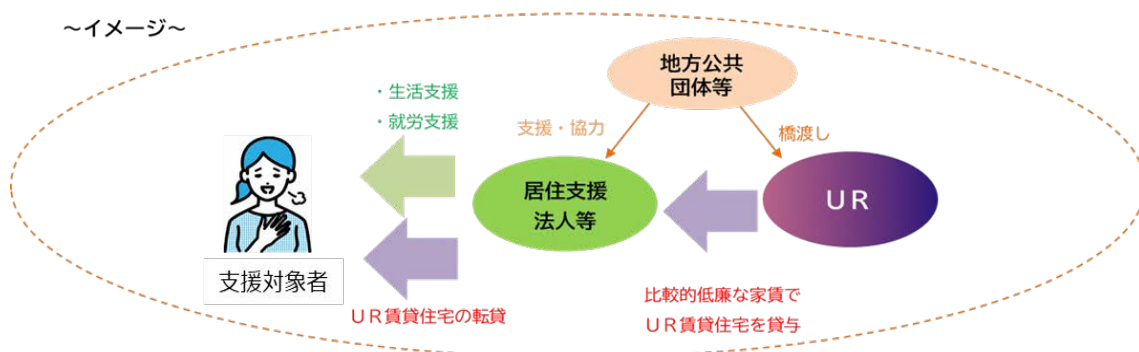




(千葉県内初) UR 賃貸住宅を活用した セーフティネットの取組

市と独立行政法人都市再生機構（UR）が連携し、市内を業務区域とする居住支援法人を対象に、UR賃貸住宅の空き住戸を賃貸する取組（自立支援スキーム）を開始します。

この取組により、居住支援法人が自立を目指す支援対象者にUR賃貸住宅を転貸し、当該支援対象者に生活支援や就労支援を実施することが可能となり、支援対象者は居住支援法人のサポートを受けながら、自立を目指すことが可能となります。



■制度概要

制度開始日：令和8年10月1日

連携対象：千葉県知事の指定を受け、松戸市を支援区域とする居住支援法人

支援対象者：契約期間中に自立を目指す住宅確保要配慮者（※）

※ 一時的な離職者、ひとり親世帯など

支援内容：居住支援法人は支援対象者に対し、生活支援や就労支援を実施

対象住戸：希望条件や空室状況を踏まえ、URが提供可能な住戸を案内

契約期間：3年間の定期建物質賃借

■令和8年10月1日時点で連携している居住支援法人

（株）住まいと生活相談（千葉県居住支援法人第0017号）

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市街づくり部住宅政策課 ☎047-366-7366

FAX047-366-2073 ✉ mcjuutaku@city.matsudo.chiba.jp